

# 都市再生整備計画 事後評価シート

下呂市中心市街地地区

令和5年5月

岐阜県下呂市

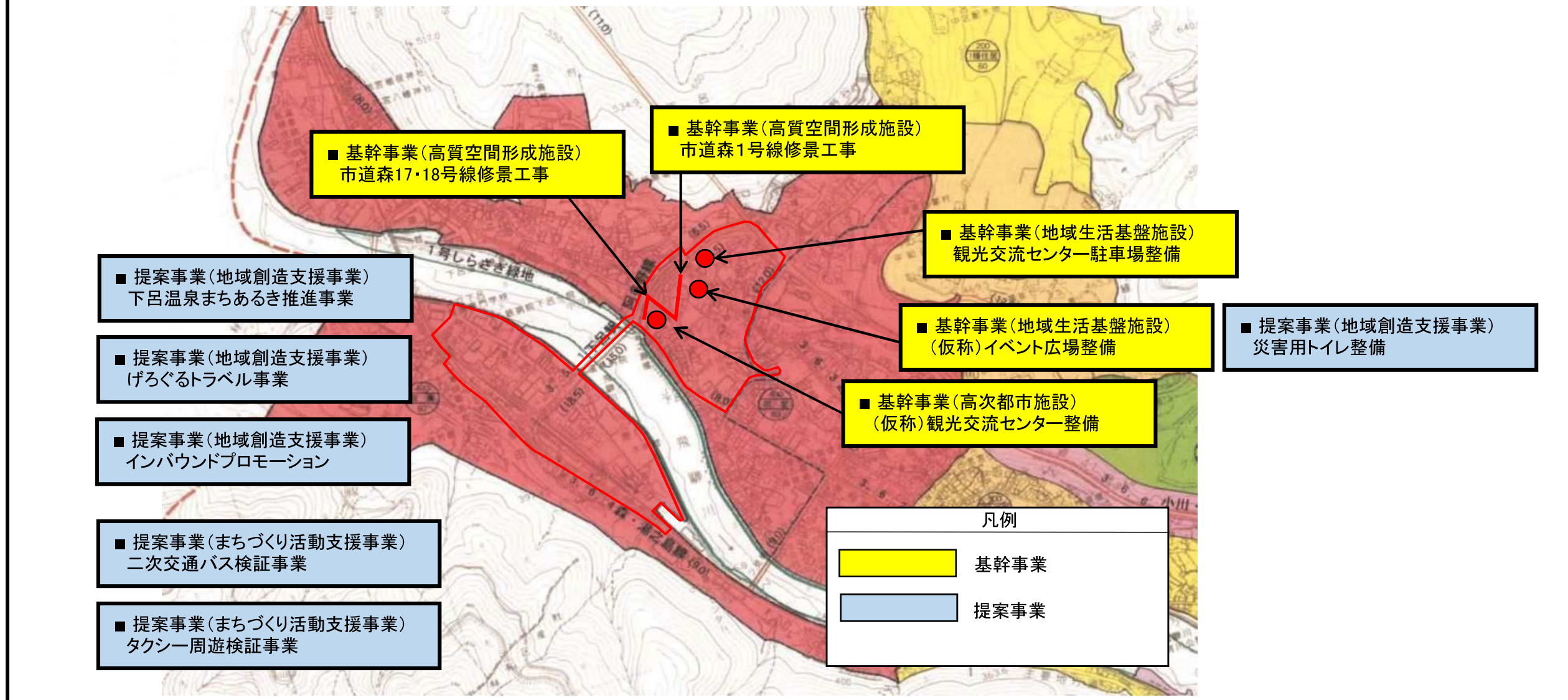
様式2-1 評価結果まとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	下呂市		地区名	下呂市中心市街地地区			面積	20.7ha		
交付期間	平成28年度～令和3年度		事後評価実施時期			交付対象事業費	550,351,320円		国費率	32.7%			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活基盤施設：観光交流センター駐車場、(仮称)イベント広場</li> <li>・高次都市施設：(仮称)観光交流センター</li> <li>・高質空間形成施設：市道森1号線修景工事、森17・18号線修景工事</li> </ul>										
		提案事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造支援事業：下呂温泉街まちあるき推進事業、げろぐるトラベル事業、インバウンドプロモーション、災害用トイレ整備</li> <li>・まちづくり活動支援事業：二次交通バス検証事業、タクシー周遊検証事業</li> </ul>										
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		基幹事業	二次交通発着所・駐車場整備事業			下呂駅と一体的な整備を考えるため計画を見直して削除した。			影響なし				
		提案事業	-			-			-				
		新たに追加した事業	基幹事業	市道森1号線修景工事・市道森17・18号線修景工事			観光交流センターとイベント広場を結ぶ街路修景整備を計画に追加した。			影響なし			
	提案事業	災害用トイレ整備			イベント広場への災害用トイレ整備を計画に追加した。			影響なし					
交付期間の変更	当初	平成28年度～平成32年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし							
	変更	平成28年度～令和3年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位		基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	下呂温泉年間宿泊者数	万人	98	H26	105	R3	-	93	89%	あり なし	○	コロナ禍の影響が強く響いており、令和2年度は、512,498人、令和3年度は、582,564人と半減した。個人客の積極的な誘致でR4年度は93万人まで回復することができた。
	指標2	観光客満足度アンケート	%	67	H26	80	R3	-	90	113%	あり なし	○	令和5年3月中旬に観光交流センター等で観光客向けのアンケートを実施し、200サンプルを集計した結果、満足度は90%となった。
指標3	観光交流センター利用者数	人	29,000	H26	35,000	R3	-	84,909	243%	あり なし	○	開館当初より多くの観光客に足を運んでいたが、市内各地の観光情報を提供できた。年間通じて宿泊者の1割弱が来館している。	
3)その他の数値目標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位		基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	-	-	-	-	/	/	-	/	/	-	-	
	指標2	-	-	-	-	/	/	-	/	/	-	-	
指標3	-	-	-	-	/	/	-	/	/	-	-		
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング			-				-					
	官民連携による取り組み			事業実施時において、随時、下呂市地域再生協議会を開催し、意見交換等を実施した。				<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>					
	持続的なまちづくり体制の構築			旧下呂温泉病院跡地活用委員会を新たに設置して、当該計画の後継となるまちづくりの協議体制を構築した。				<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>					

様式2-2 地区の概要

下呂市中心市街地地区(岐阜県下呂市)都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
目標1: 観光施設の整備により、観光地としての交流やにぎわいを取り戻す 目標2: 市民参加により、観光地として誇りを持てる地域の創出を目指す	下呂温泉年間宿泊者数	単位: 万人	98 H26	105 R3
	観光客満足度アンケート	単位: %	67 H26	80 R3
	観光交流センター利用者数	単位: 人	29,000 H26	35,000 R3
		単位		
	単位			



まちの課題の変化

今後のまちづくりの方策  
(改善策を含む)

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## (添付書類)

### (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値目標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

### (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付書類3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

### (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

### (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付書類5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付書類5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付書類5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

### (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

### (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

### (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		○	目標1: 観光施設の整備により、観光地としての交流やにぎわいを取り戻す 目標2: 市民参加により、観光地として誇りを持てる地域の創出を目指す	-	-
B. 目標を定量化する指標		○	① 下呂温泉年間宿泊者数 ② 観光客満足度アンケート ③ 観光交流センター利用者数	-	-
C. 目標値		○	① 105万人 ② 80% ③ 35,000人	-	-
D. その他( )	-	-	-	-	-



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標			データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体的手法等)	(参考)※1 計画以前の値		従前値		目標値		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
				(ア)	基準年度	(イ)	基準年度	(ウ)	目標年度					あり	なし	
指標1	下呂温泉宿泊者数	万人	下呂温泉宿泊統計調査		H16	98	H26	105	R3	モニタリング	-	-	モニタリング	-	○	
										事後評価	確定	93	事後評価	89%		
指標2	観光客満足度アンケート	%	(一社)下呂温泉観光協会の観光客満足度アンケート		H16	67	H26	80	R3	モニタリング	-	-	モニタリング	-	○	
										事後評価	確定	90	事後評価	113%		
指標3	観光交流センター利用者数	人	下呂市総合観光案内所及び観光交流センターの利用者数		H16	29,000	H26	35,000	R3	モニタリング	-	-	モニタリング	-	○	
										事後評価	確定	84,909	事後評価	243%		
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由(達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)
指標1	新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きかったが、感染法上の分類が5月8日に5類に引き下げられることにより客足が戻ることを期待している。	
指標2		
指標3		
指標4		
指標5		

(2)実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由 )		
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由 )		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
事業実施時において、随時、下呂市地域再生協議会を開催し、意見交換等を実施した。	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由 )	○ ・地域再生計画(内閣府)の策定にあたり4回開催(平成27年度) ・都市再生整備計画の実施に係るプロポーザル委員会開催1回(平成28年度) ・都市再生整備計画の進捗状況管理にあたり4回開催(平成29年度～令和2年度) 都市再生整備計画事業の進捗状況の管理を逐次実施することができた。	添付様式3-① 持続的なまちづくり体制に移行する。
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由 )		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況			今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
旧下呂温泉病院跡地活用委員会を新たに設置して、当該計画の後継となるまちづくりの協議体制を構築した。	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由 )	○ ・地域再生協議会の構成員を新たに見直し、当該計画の後継となるまちづくりの協議体制を構築した。	・名称:旧下呂温泉病院跡地活用委員会 ・概要:構成員を新たに見直し、当該計画の後継となる市有地活用検討を行う。	旧下呂温泉病院跡地の市有地活用に関して、新たな都市計画の策定を含めたまちづくりの方針を協議する。
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由 )			



添付様式4-⑥ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○		指標○		指標○		指標○					
指標名		下呂温泉宿泊者数:105万人		観光客満足度アンケート:80%		観光交流センター利用者数:35,000人							
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	目標未達成への影響度	総合所見	目標未達成への影響度	総合所見	目標未達成への影響度	総合所見				
基幹事業	観光交流センター駐車場整備 (仮称)イベント広場整備		下呂温泉宿泊調査の結果、令和4年度の宿泊者数は931,432人で目標値の89%にとどまった。これはコロナ禍の影響が強く響いており、令和元年度の1,037,616人から令和2年度の512,498人、また、令和3年度の582,564人と大きく半減した。観光需要は激減し、募集型企画旅行等の団体ツアーやインパウンドが回復しない状況で個人客を積極的に誘致することでR4年度は93万人まで呼び戻すことができた。		III								
	二次交通発着所・駐車場整備												
	市道森1号線修景工事												
	市道森17・18号線修景工事												
	(仮称)観光交流センター整備工事	○											
提案事業	下呂温泉まちあるき推進事業	○											
	げろぐるトラベル事業	○											
	インパウンドプロモーション	○											
	災害用トイレ整備	○											
	二次交通バス検証事業	○											
	タクシー周遊検証事業	○											
関連事業													

※ 目標未達成への影響度

- × : 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- × : 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △ : 指標目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※ 要因の分類

- 分類Ⅰ : 内的な要因で予見可能な要因。
- 分類Ⅱ : 外的な要因で予見可能な要因。
- 分類Ⅲ : 内的な要因で予見不可能な要因。
- 分類Ⅳ : 外的な要因で予見不可能な要因。

改善の方針 (記入必須)	新型コロナの影響による要因が大きいことから、今後の社会変化や観光動向を見ながら判断する必要がある。			
-----------------	---	--	--	--

(4)今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
旧下呂温泉病院跡地検討委員会	市長、副市長、(一社)下呂温泉観光協会長、下呂温泉旅館協同組合長、下呂温泉事業協同組合長、下呂商工会長、萩原町商工会・萩原町観光協会、小坂町商工会・飛騨小坂観光協会、金山町商工会・金山町観光協会、馬瀬商工会・南飛騨馬瀬川観光協会、下呂飲食業組合長、幸田区長、森区長、湯之島区長、幸田区栄町町内会長、南飛騨観光バス(株)	令和4年6月～令和5年3月	まちづくり推進部企画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
各地の温泉や自然文化とともにある観光スポットは下呂市の重要な資産であり、積極的に保全、活用を図ることが求められている。	下呂市エコツーリズム推進全体構想の策定等により保全ルールや活用方法が定められたWEBサイト「下呂温泉郷+(プラス)」の立ち上げにより市内資源のPRと販売が出来るようになった。		
森と清流に代表される自然を活かした活力あるまちづくりが求められている。	下呂市エコツーリズム推進全体構想の策定等により保全ルールや活用方法が定められたWEBサイト「下呂温泉郷+(プラス)」の立ち上げにより市内資源のPRと販売が出来るようになった。		
減退しつつある地域活力を取り戻すため、観光資源の有効活用等が必要である。	下呂市エコツーリズム推進全体構想の策定等により保全ルールや活用方法が定められたWEBサイト「下呂温泉郷+(プラス)」の立ち上げにより市内資源のPRと販売が出来るようになった。		
集約型都市への転換に向けた都市計画の総合的な検証が必要である。		集約型都市への転換に向けた計画策定(立地適正化計画)を検討する。	
住民参画型の観光まちづくりのため、住民意識向上のための施策が必要である。	下呂市エコツーリズム推進協議会が市民ツアーや宝探し事業(資源の掘り起こし)を実施した。		
観光客が集まる抜本的な取り組みや、イベントの開催などを住民とともに検討する必要がある。		コロナ過の影響でイベントが開催出来ない期間が続いたため、再度地域を巻き込んで検討する必要がある。	
災害時における観光客等の避難場所を確保する必要がある。	観光交流センターを整備出来たことで観光客の一時避難所としての活用や、イベント広場にも災害用トイレを整備することができた。		

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるために行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	整備した施設の利活用促進・維持管理	・整備した施設について、地域住民等の利活用を推進する取組を行うとともに、利用しやすい環境、サービス提供に向けた維持管理を行う。	・道路・公園等の積極的な活用・維持管理 ・観光交流センター、イベント広場等の利用促進・維持管理

B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対するための改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	・募集型企画旅行等の団体ツアーやインバウンドの誘致	・積極的な募集型企画旅行等の団体ツアーやインバウンドの誘致を行う。	・観光PR事業

■ 様式5-③ の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載してください。(チェック欄)

	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
	数値目標を達成できなかった指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
	残された課題や新たな課題(添付様式5-③)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

--

添付様式5-⑥ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入してください。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記してください。

指標		単位	従前値		目標値		評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	
				年度		年度						
指標1	下呂温泉宿泊者数	万人	98	H26	105	R3	確定	○	93	89%	あり	○
							見込み				なし	
指標2	観光客満足度アンケート	%	67	H26	80	R3	確定	○	90	113%	あり	○
							見込み				なし	
指標3	観光交流センター利用者数	人	29,000	H26	35,000	R3	確定	○	84,909	243%	あり	○
							見込み				なし	
指標4							確定				あり	
							見込み				なし	
指標5							確定				あり	
							見込み				なし	

フォローアップ計画		
予定時期	計測方法	その他特記事項

指標1							確定				あり	
							見込み				なし	
指標2							確定				あり	
							見込み				なし	
指標3							確定				あり	
							見込み				なし	


(5)事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	下呂市ホームページに掲載	令和5年5月下旬～6月下旬	令和5年5月下旬～6月下旬	電子メール	まちづくり推進部企画課
広報掲載・回覧・戸別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	
-------	--